ドキュメンタリー映画「妻の病」上映会開催の概要

開催の目的　：　平成12年の介護保険制度施行に伴い、認知症対応型共同

　　　　　　　生活介護としてスタートしたグループホームですが、

　　　　　　　これまで制度改正や報酬の見直し等、節目節目において

　　　　　　　自らのあり方を検証しつつ今日に至っております。2025年

　　　　　　　問題を真近に控え「地域包括ケアシステム」による「地域で

　　　　　　　安心して暮らせる街づくり」の構想など、超高齢社会に対応

　　　　　　　すべく様々な対策が講じられています。同時に、社会全体の

　　　　　　　認知症理解を深め、地域力を形成し共に支えるシステムの

　　　　　　　構築が求められており、そのシステムを有効に機能させる為

　　　　　　　認知症ケアの専門職として我々の果たす役割と責任は如何に

　　　　　　　在るべきかが問われているものと思います。

　　　　　　　　今回のドキュメンタリー映画上映では、認知症ケアの専門職

　　　　　　　だけではなく、地域の方々を含め今後の認知症の人を支える

　　　　　　　姿を問い続け、未来のあり方を考える機会にしたいと願い企画

　　　　　　　しました。

開催主体　：　一般社団法人　三重県地域密着型サービス協議会

開催日　　：　平成27年6月4日　（木）　午後6時30分より

開催場所　：　鈴鹿市文化会館　さつきプラザ　定員２００名限定

　　　　　　　　まだお席に余裕があります。協議会会員の皆様には

　　　　　　　　多数のご出席をお願いいたします。

開催内容　：　○ドキュメンタリー映画上映『妻の病・レビー小体型認知症』

　　　　　　　　伊勢　真一　監督作品

　　　　　　　○認知症専門医による講和『認知症の人を支えるために』

　　　　　　　　ますずがわ神経内科クリニック　院長　真鈴川先生

　　　　　　　○認知症ケア専門職による講和『地域ケアについて』

　　　　　　　　　ホワイト介護　総括施設長　北　正美　先生

参加費用　：　三重県地域密着型サービス協議会会員・・・・・無料

　　　　　　　非会員・・・・・・・・・５００円